

公共交通空白地有償運送 自宅送迎制度実証運行(案)について

令和4年6月22日(水)

東秩父村地域公共交通活性化協議会

公共交通空白地有償運送自宅送迎制度実証運行（案）にかかる経緯及び目的について

- ▶ 本実証運行は「東秩父村地域公共交通計画」の基本方針に則り、公共交通の維持確保を目的とし、令和3年8月5日（木）に開催された第2回分科会において、イーグルバス株式会社とNPO法人ふれあいやまびこ会との連携として、路線バスと空白地有償運送の相互利用について検討するよう提案有り。

第2回分科会以降、継続的に審議され、令和4年2月25日（金）に開催された第2回協議会において実証運行の実施が承認される。

「東秩父村地域公共交通計画」令和3年度～令和10年度の8年間

- ・基本方針1 利用者に合わせたサービスの提供
- ・基本方針2 持続可能な公共交通体系の確立

協議事項一覧

▶ 交通公共交通空白地有償運送自宅送迎制度実証運行（案）に係る検討事項について

- ① 自宅送迎制度実証運行（仮称）について
- ② 相互利用案内・乗り方ガイドについて
- ③ 共通スタンプラリーについて
- ④ 事業スケジュールの検討について

① 自宅送迎制度実証運行（仮称）について

▶ 令和3年度第2回協議会でいただいた自宅送迎制度実証運行（案）に係る協議が必要なご意見

- ① 運行形態について、実証実験のため、バス利用者を乗車させると明確にしたほうがよい。
- ② 利用料金や運行形態は、村及びNPO法人が運行を維持できる範囲で適切に設定することが望ましい。
- ③ 運行は3ヶ月～半年程度の試行期間で有効性確認すべき。
- ④ 車の定員を超える方が利用希望となった場合の対応策を予め検討しておいた方がよい。
- ⑤ 予約制にすべき。
- ⑥ 愛称をつけたらどうか。

項目	原案	分科会案
運行形態	(仮)和紙の里で交通公共交通空白地有償運送車両が常駐し、利用者の自宅まで運行する。(原則、バス利用者を乗車させる。)	原案のとおり。 路線バスの到着時間に合わせて車両をターミナルで待機、住民に加えて観光客も対象とする。
運賃	(仮)ワンコインなどの一律料金にし、乗車の際に現金で支払う。 ※実証時運行期間中は無料で検討	実証運行中は、無料で実施する。 実証運行の状況を見て、改めて検討する。
運行期間	(仮)令和4年9月からの秋頃を想定 ※交通公共交通空白地有償運送の運転手募集の状況により実施時期の見直しあり。	2か月間の期間を想定。 9月議会後に広報周知し、10月から利用開始。 10/11~12/23までの期間とする。
運行日・時間	(仮)平日のみ 13時半~18時半 ※開始時間と終了時間は5~10分の前後あり。	平日のみ 12時半~19時半 休憩1時間有り ※終了時間は実績に応じて変更あり。
運行車両	(仮)普通自動車(小型)1台 (定員4名想定) ※運転手は2名を1日ごと交代で運転(村シルバーに運転手派遣依頼)	8人乗り(ノアなどの車両) 村シルバーから運転士の紹介等の連携を図る
運行区域	(仮)和紙の里バスターミナル → 自宅 ※村内全域	原案のとおり。
交通事業者	NPO法人「ふれあいやまびこ会」(交通公共交通空白地有償運送事業者)	原案のとおり。
予約方法	(仮)予約については原則受け付けない。	原案のとおり。 バスの乗り継ぎを明確に周知する。
想定予算	燃料費 月32,000円(160円×100×20日) 人件費 月120,000円(1,000円×6時間×20日) 車両リース2か月 概算 110,000円から120,000円	次ページ参照。

想定される予算

歳入

項目	内容	金額
補助金	埼玉県令和4年度地域公共交通活性化促進事業補助金交付 補助対象費用の1/2相当を補助	678,000円

歳出

項目	内容	金額
燃料費	160円×100×52日 乗り継ぎ対象となる5本分を白石区まで運行した場合を想定(片道10km)	83,200円
人件費	時給1,000円×6時間×52日	312,000円
車両リース料	車両:トヨタ ノア リース期間:10月4日~12月30日 (実証運行期間+前後1週間)	630,000円
印刷製本費	A3サイズ2つ折り 単価95円×2,000枚×消費税	209,000円
消耗品費	バインダー、アンケート・掲示物用紙代、印刷代等	50,000円
その他	講習受講料 13,000円×5人 傷害共済保険料1,400円×5人	72,000円
合計		1,356,200円

その他項目	ご意見・課題	分科会案
愛称	交通公共交通空白地有償運送は、皆さんにわかりやすいように「愛称」をつけたらいかがか。	協議会にて改めて検討する。
乗車人数	定員より多く乗車したいといった意向があった場合どうするか。	定員を超える乗車は認めない。 定員を定め、周知する。
住民周知	HP・広報誌・イーグルバス車内・やまびこ会車内といった広告が考えられるがその他はどうするか。	ご意見の他、タブレット、停留所にて実施する。
アンケート	アンケートの実施・回収はどうするか。	車内で回答をお願いする。 わかりやすいアンケートにする。 無料の条件として記入いただく。
目標値	こういった基準をもって算定するのか。	利用人数・将来の維持可能人数・新規利用者・収支率をもって算定基礎資料とする。

2 相互利用案内・乗り方ガイドの修正案について

▶ 令和3年度第2回協議会でいただいた相互利用案内・乗り方ガイドに係る協議が必要なご意見

項目	ご意見	分科会案
レイアウト全般	<p>モデルコースを記載したページについて、全体的に文字が小さいので、レイアウトを調整するなどもう少し文字を大きくした方がよい。</p> <p>モデルコースの各表について、利用者がまず把握したい情報は、バス停名や発着時間かと思しますので、例えば「バス停名」「発着」「①時間」「②時間」の幅をもう少し大きくして、「バス」「バス系統」と入れ替えて目立つようにしてもよい。</p> <p>交通公共交通空白地有償運送の概要が記載された表について、全体的にもう少し字を大きくしてよい</p> <p>また同表で、これまでの経緯を伝える意図があればそのままでもいいと思うが、「ルート・利用内容」の下の括弧書きは削除し、「入会金」と「年会費」は「無料」という表現でもよい。</p> <p>バス路線図について、モデルコースで示す「小川町駅」「和紙の里」「白石車庫」「かやの湯前」といった主要なバス停は四角で囲むなどして、視覚的にわかりやすくしてもよい。</p>	<p>文字数が非情に多く、視覚的にわかりにくい。</p> <p>伝えたいことが多すぎてまとまりがない。重要な部分がわからない。</p> <p>⇒分科会より再度構成から変更するように提案有り。</p>

③ 共通スタンプラリーについて

▶ 令和3年度第2回協議会でいただいた共通スタンプラリーに係る協議が必要なご意見

- ① 同じ日に両方（路線バスと公共交通空白地有償運送）利用された方にスタンプを押すことになるが、どのようにして確認するのか。
- ② 実証運行と同時期に実施出来ればよい。
- ③ 一定期間に有効性の確認し継続、廃止とするべき。
- ④ なるべく運転士・乗務員に負担が生じない方法を採用することが望ましい。
- ⑤ LINEのショップカードに登録し、利用者がポイントを集める方法はいかがか。

項目	ご意見	分科会案
確認方法	同じ日に両方（路線バスと有償運送）利用された方にスタンプを押すことになるが、どのようにして確認するのか。	やまびこ会を利用した際、降車時にスタンプを押す。
実施時期	実証運行と同時期に実施出来れば良い。	実証運行と併せて実施する。 10/11～12/23まで
実施方法	なるべく運転士・乗務員に負担が生じない方法を採用することが望ましい。	確認方法の欄と同様に降車時にスタンプを押すのみとし、負担の軽減を図る。
その他	LINEのショッピングカードに登録し、利用者がポイントを集める方法はいかがか。一定期間に有効性の確認し継続、廃止とするべき。	LINEのショッピングカードはスタンプラリーと併用を検討中。 実施するとなれば今回の実証運行で有効性を確認し、次回以降の実証運行の際に継続・廃止の検討を行う。

4 事業スケジュールの検討について

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
分科会					○ 第2回																
協議会			○ 第1回					○ 第2回													
議会全員協議会									○												
実証運行期間																					

12月23日
終了見込

10月11日
開始見込

※イーグルバス・ふれあいやまびこ会との打ち合わせは随時実施